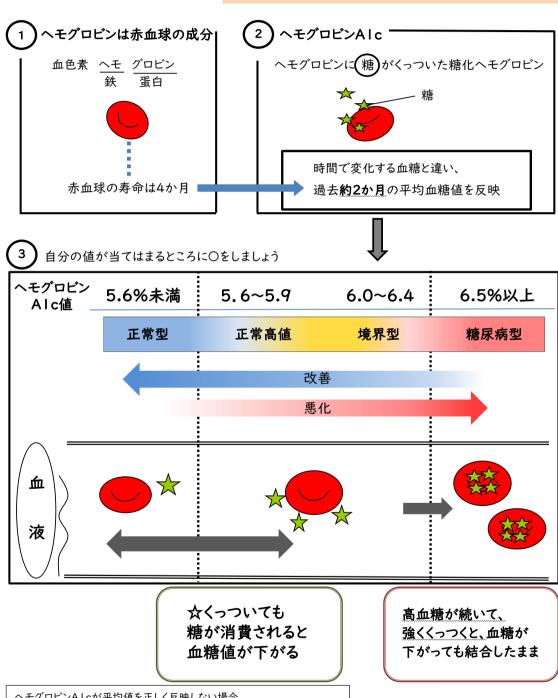
血糖値が気になる方へ

ヘモグロビンAIc は …

血糖コントロール状態の最も重要な指標

- ◎今の生活(食と運動)で血糖値をコントロールできているかを 確認する指標です。
- ◎糖尿病の診断に用いられます。



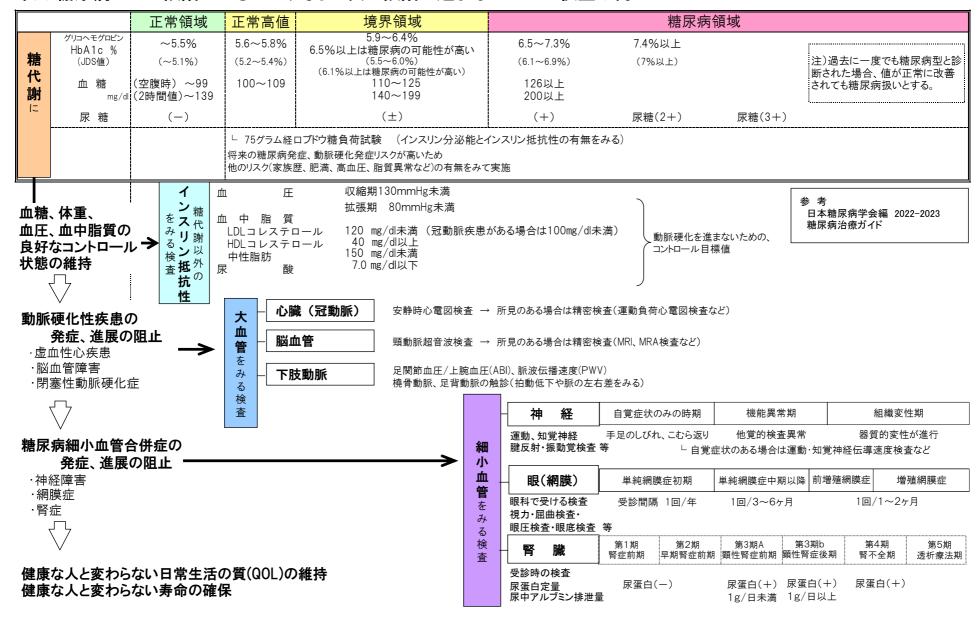
ヘモグロビンAIcが平均値を正しく反映しない場合

- <ヘモグロビンAlcが低め>
- ・急激に発症・増悪した糖尿病
- ・エリスロポエチンで治療中の腎症貧血
- ・鉄欠乏性貧血の回復期
- ·肝硬変
- ·溶血(赤血球寿命↓)
- ·透析

※ 貧血の場合はヘモグロビンAlcに反映するので注意する

参考:糖尿病治療ガイド2022-2023

私は糖尿病のどの段階にいるのか、そして次の段階に進まないための検査は何か



健診結果の変化をみて HbAIcが上がる要因はタイプによって違います

①健診結果を	確認しましょう BMI	HbAIc %	
②自分の タイプは? /	Aタイプ (体重が増えていっても、HbAlcが ギリギリまで上がらないタイプ	Bタイプ(体重が増えてくるとHbAlcが 上がるタイプ	Cタイプ (体重が増えなくても、早くから) HbAIcが上がるタイプ
	BMI25以上		家系内血縁者に糖尿病の人がいる
③日常的に 食べるものは ありますか?	□ ウインナー □ ベーコン □ 肉類	□ 菓子パン □ 惣菜パン □ パスタ□ ピザ□ 餃子□ スナック菓子 □ アイスクリーム○ チョコレート □ フラッペ (クリーム入り)	□ 寿司□ シリアル+果物□ 酢飲料□ 炭酸飲料□ スポーツ飲料□ 果物□ あんこ菓子
	脂質中心	脂質 + 糖質	糖質中心
④ 体の中で	Will the state of	THE PARTY OF THE P	
インスリンの 仕事	脂肪 () はインスリンが無くても脂肪細胞に入る	脂肪○ はインスリンが無くても脂肪細胞に入る	糖☆を細胞にしまう(血糖値を下げる)ために インスリン√が一気にたくさん必要
脂肪と糖の ゆくえ	血液 インスリンが 無くても入る 脂肪細胞 悪玉サイトカイン	血液 インスリンが、無くても入る 脂肪細胞 筋肉	脂肪細胞筋肉
すい臓の力	インスリンが効きにくくなる インスリンをたくさん出す すい臓が力尽きると、インスリンが出せなくなる。	インスリンが出てくるのが遅くなる 士 体重が増える(脂肪細胞が大きくなる)と インスリンが効きにくくなる	インスリンが出てくるのが遅い出せるインスリンの量が少ない
日本人は欧米人と比べて身長が低いため、臓器をしまうスペースが少ない → すい臓が大きくなれない			

糖(炭水化物)が入ってきた時のインスリンの仕事

